首都圏

kanto2@njd.jp

関東支社 〒105-0012 東京都港区芝大門1-10-11 TEL 03-5777-2635
東京支局 埼玉支局 神奈川支局 千葉支局 長野支局 群馬支局
新潟支局 山梨支局 栃木支局 茨城支局
ご購読のお申し込みはお近くの朝日新聞販売店または左記支社・支局へ

視線

○…最近人と人の関係というものがつくづく良いものだと強く感じている。転勤により地域を転々としたこともあり、地域ごとに仕事、プライベートともに人の輪が広がっていく。とくに仕事により顧客と構築した人間関係は、どこに行っても生かされるものだと改めて感じさせられる。

○…5、6月は業界団体の総会が続き、3、4年ぶりの開催で全国から集まった方々が、今の自分を気にかけてくれる。その一方で、帰任して再会した人も多くいる。お世話になっている人に感謝しながら、今後も人の縁を大切にしていきたいものだ。

ひと

JU埼玉・青年部部会長に就任した 吉田　博徳さん

対外に青年部の魅力をアピール

工場長を任されていた中古車販売会社の倒産を機に、自身で会社を立ち上げた。埼玉県中古自動車販売商工組合・同商工組合（JU埼玉）のほか、複数の団体に入会して幅広い分野の最新動向を精力的に収集し、人脈も広げてきた。

現在は自動車販売、整備、レンタカー、レッカー、保険の各事業を傘下に持つ吉博グループの代表を務める。5月からJU埼玉の青年部会長を任された。

JU埼玉の入会は業界の先輩からの誘いだった。誠実な人柄と人当たりの良さが周囲を引き付け、まもなく理事に選ばれた。青年部会は当初、従業員を入会させていたが、その後に自身が入会。県内外で横のつながりを広げた。

JU埼玉の魅力を「中古車相場の情報を集められるほかに、相談できる心強い仲間がいる」と語る。青年部会の立ち位置は「実行部隊」と表現する。

JU埼玉AA（オートオークション）で年2回開催の「青年部主催記念AA」は出品台数の多さが突出していることと、青年部会が自分たちでテーマを決めて実施する研修会に将来性と魅力を感じたからだ。

部会長として「新部会員の開拓」「JU埼玉AAの青年部主催記念AAの成功」を挙げる。2つの成功に向けて「対外に青年部が魅力ある仲間の集まりであることをアピールし、JU埼玉の青年部は元気で吸収できるものがたくさんあることを見せたい」と意気込みを語る。

研修会はテーマの候補に「各コーナーの特色」「成約率の分析」「最新の整備」「車体整備」とする。青年部主催AAでは、これまで以上にJU埼玉の各支部へこまめに通い、人間関係を深めながら出品を要請する考えだ。

目指すは親会が全国のJUの中でトップレベルなのと同様、青年部会も他県と自県内で同じくらいの勢いを示すことだ。

（島田　朋之）

よしだ・ひろのり　1980年8月生まれの42歳、栃木県出身。

各種団体で総会

小倉龍一理事長　副理事長ら再任　神車協

【横浜】神奈川県自動車車体整備協同組合（神車協、小倉龍一理事長）は、横浜市内のホテルで「第40回通常総会」を開催した＝写真。2022年度の事業報告や収支決算、23年度の事業計画案および予算案を全て可決した。任期満了に伴う役員の改選では、小倉理事長、鈴木淳一副理事長、成田広栄副理事長を再任した。

今期は、整備代金の適正化への取り組みを事業の柱に据えた。物価高騰により整備用資材などの原価が上がっている一方で、工賃は据え置かれている。こうした状況の改善を目指し、組合員が適正な料金を請求できる環境作りを進めていく。また、高度化車体整備技能講習などの教育支援は継続し推進する方針。

制限なしで開催　神ト協

【横浜】神奈川県トラック協会（吉田修一会長）は、横浜市内のホテルで「第50回通常総会」を開催した＝写真。制限を設けない形での総会の開催は4年ぶり。令和4年度の事業報告と決算、令和5年度の事業計画案と予算案などを審議し、原案通り可決された。

吉田会長は「あたりまえを止めるなという覚悟のもと、コロナ禍でも大変なご努力をいただいた。おかげさまで社会的に高い評価を得ることができた」とあいさつした。また「標準的な運賃の実現と2024年問題に対応するために、業界全体が一丸になることが重要。ぜひご協力いただきたい」などと述べた。

23年度活動計画、予算案を承認　AIR埼玉

【さいたま】AIRオートクラブ埼玉支部（榎本秀夫支部長）は、川越市内の損害保険ジャパン埼玉支店（和田喜勝支店長）で2023年度定期総会を開催した＝写真。議案は23年度活動方針と活動計画案、22年度決算報告、23年度予算案で、すべての議題を承認した。

議案審議の前に榎本支部長は「3年間活動できなかったが（本年度は）いい交流の場にしたい」などとあいさつした。

議案審議の前に榎本支部長は「3年間活動できなかったが（本年度は）いい交流の場にしたい」などとあいさつした。

4月に高知支店長が「和田支店長が「」

アスドリーム

グリーン電力化を推進

営業拠点に太陽光パネル

【水戸】新車・中古車販売、整備事業者のアスドリーム（大田勝彦社長）は、太陽光発電による事業のグリーン電力化を推進する。営業拠点の屋根および野立ての太陽光パネルにより発電したグリーン電力で、事業全体の電力をまかなえるようにする。すでに本社の事務所と併設工場はほぼグリーン電力で対応しており、今後は蓄電池を各拠点に設置し、7月より全事務所棟はすべてグリーン電力でまかなえるようにする。残りの工場棟の電力も蓄電池の追加導入を進めて、オールグリーン電力化を目指す。

オートサービスショーでグリーン電力化の取り組みを説明した大田社長

同社は鹿嶋市に3拠点（オートガレージオオタ谷原店、同港ヶ丘本店、ケアーズ鹿嶋店）、神栖市に1拠点（カーセブン神栖店）の計4拠点（工場）を展開し、すべての屋根に太陽光パネルを設置。野立て発電所を含め、トータルで1メガワットの発電能力を擁する。太陽光による再生エネルギー導入の狙いは、企業として環境問題に対する取り組みと、東日本大震災で自社が被災したことを契機に災害への対策強化が念頭にあった。

自社で発電したグリーン電力は、これまで余剰電力分を電力会社に買い取ってもらってきたが、グリーン電力を自ら使用してSDGs（持続可能な開発目標）活動を主軸に、一連の取り組みを強化する。

グリーン電力による二酸化炭素（CO_2）削減量は、同社のサービス入庫顧客に対しても、数値で見える化し、環境貢献への活動を促す。入庫作業に応じたCO_2削減量はスマートフォンのアプリで確認でき、同削減量を顧客へポイントとして付与する。システムにはディーアイシージャパン（小坂誠代表取締役、東京都千代田区）の「グリーンビズシステム」を採用する。これまでグリーン電力の発電事業者として同システムに協力してきたが、サービスの利用事業者としても参画する。

大田社長は、6月に東京ビッグサイトで開催した「オートサービスショー2023」でのディーアイシージャパンのブース内でプレゼンテーションし、「太陽光発電で自家発電している会社ゆえに、稼働するほどエコに貢献しているという自負がある。近年は電気代が大幅に上がっていることもあり、電気をバッテリーで蓄電して自社で利用していく」などと取り組みを話した。

ウイルプラスホールディングス

子会社名を変

吉澤会長・理事

【東京】ウイルプラスホールディングスは、7月1日付けで連結子会社のチェッカーモータース（齊田勇社長）を「ウイルプラスチェッカーモータース」に、帝欧オート（成瀬隆章社長）を「ウイルプラス帝欧オー」に社名変更する。

今回の商号変つの連結子会社名にグループの「ス」が冠され、の一層の浸透を

陸運関係事業発

【東京】関東輸支局（尾崎行は、品川区の支5年陸運関係功支局長表彰」を関係事業の功労年にわたり事業した19人を表彰

表彰式で尾崎賞者の栄誉を称さまの豊富な知かし、ますます き、後進の育成関係事業の発展ただきたい」と た、来賓には東タクシー協会の長、東京都トラ